

茨城県山岳連盟における強化選手選考基準

令和8年3月14日

当該年度の茨城県予選兼県民総体に参加した者のうち、以下の選考基準及び条件を満たす者を選考する。ただし、坂場杯及び World Climbing(国際スポーツクライミング連盟)または World Climbing Asia(アジアスポーツクライミング連盟)が主催する国際・大陸公式大会、または日本山岳・スポーツクライミング協会が主催する公式大会で顕著な成績を収めた者を、若干名追加する場合がある。追加選考はスポーツクライミング部が協議の上決定する。

1) 選考基準

- a 小学4年生以上
- b 茨城県山岳連盟所属の者
- c 茨城県山岳連盟の強化指定選手になる意思のある者
- d 茨城県山岳連盟が開催する強化練習会へ参加する意思のある者
- e 保護者又は選手関係者が、当連盟が関係するスポーツクライミング事業において、役員・スタッフとして協力する意思があること

2) 選手種別及び選考条件

1) を満たす者のうち、

a 強化指定 A 選手

- ① 国民スポーツ大会 正選手及び予備選手
- ② 国民スポーツ大会選手選考または強化選手選考として、リード、ボルダー両競技またはどちらかの競技をエキスパート種別で参加した者の男女各上位5名程度
なお選考の優先順位は以下とします
 - ・ボルダー、リード両競技をエキスパートで申込みしたもので順位上位のもの (優先1)
 - ・リード競技をエキスパート、ボルダー競技をマスターで申込みしたもので順位上位のもの (優先2)
 - ・ボルダー競技をエキスパート、リード競技をマスターで申込みしたもので順位上位のもの (優先3)

b 強化指定 B 選手

強化選手選考として参加した者のうち学年毎男女各上位2名程度

なお選考の優先順位は以下とします

- ・ボルダー、リード両競技をマスターで申込みしたもので順位上位のもの (優先1)
- ・リード競技をマスター、ボルダー競技をミドルで申込みしたもので順位上位のもの (優先2)
- ・ボルダー競技をマスター、リード競技をミドルで申込みしたもので順位上位のもの (優先3)
- ・ボルダー、リード両競技をミドルで申込みしたもので順位上位のもの (優先4)

いずれの場合においても、

- ・成績が拮抗した際にはリード種目の成績を優先する。
- ・選考対象者が辞退した場合は次点者を繰り上げる。

茨城県山岳連盟スポーツクライミング部長

落合淳利